

2013

なかのバラまつり 閉幕



20周年を迎えた「2013なかのバラまつり」は、「時が咲いた。」をテーマに6月1日から23日までの23日間にわたり、一本木公園を会場に盛大に開催されました。バラの開花時期にも恵まれ、期間中は、約7万8400人の皆さんが来園され、美しいバラとさまざまなイベントを楽しんでいました。

一本木公園が「バラ公園」となるまでには「物語」があります。一本木公園が開園した30年前、元須坂高校教諭の故黒岩喜久雄さんが、自宅で育てていた172種179株のバラの苗木を本市に寄付されました。バラは一本木公園に移植され、黒岩さんは、須坂市のご自宅からバラの世話に通り続けました。

黒岩さんの姿を見て心を動かされた市民の皆さんの気持ちがつぼみとなり、やがて「なかのバラまつり」という花が咲きました。その後、一本木公園は「イングリッシュガーデン」をコンセプトとした拡張工事を行い、現在では、850種2500株のバラが園内に咲き誇る、全国でも有数の「バラ公園」となりました。

バラまつりは、中野市バラまつり実行委員会、一般社団法人一本木公園バラの会会員のほか、黒岩さんの受け継いだ大勢のボランティアの皆さんにより支えられています。これからも市民の皆さんに愛され支えられながら、バラ公園の「物語」は続いていきます。



1、2. なかのバラまつり 20周年記念事業 書家・金澤翔子「薔薇」書道パフォーマンス 3. 金澤翔子さん「希望」記念植樹 4. 西丸優子さんトークショー 5. 「バラのソムリエ」小山内健さん講演会



6. 「バラ育種家」河合伸志さん講演会 7. なかのローズタウン「ウェルカムローズ」 8. ローズウェディング 9、10. ローズ・JAM～夜の薔薇も美しい～ 11. 絶品のバラスイーツコンテスト 12. 「バラ文化研究所」稲岡一乃さん講演会



13、14. ベートーベン作曲交響曲第九番「合唱付き」 「歓喜の歌」演奏会～バラの花に囲まれて《なかのローズフェスタ合唱団》